

すこやかデイサービスが新築移転!します。

すこやかデイサービスセンター管理者 湯本 純一

すこやかデイサービスセンターをご存知ですか? デイサービスでは送迎付きで入浴、昼食、リハビリ、レクリエーション等を提供しています。場所は岐阜市北山のみどり病院の前にあるすこやか診療所に併設しています。開所が平成13年12月で、早いもので14年

も経ちました。

今年6月にオープンする「住宅型有料老人ホームすこやか」の建設に伴い、デイサービスも併設されることになりました。新しいデイサービスは5月にオープンする予定です。入浴設備、食堂、リハビリコーナー、喫茶カウンター、静養スペースを上手く融合させ、内装もおしゃれで素敵なデザインとなっています。重度の方でも安心して入浴できるよう最新式の機械浴槽も2台導入予定です。

入浴、リハビリ、認知症の方への対応等、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるようサポートしていきたいと思えます。利用時間についてもできる限りご希望に添いたいと思えますので、担当のケアマネージャーさん、またはデイサービスに直接ご相談ください。



Dr.Kの漢方薬講座

よく使われる漢方薬のご紹介

八味地黄丸(ハチミジウガン) 六味丸(ロクミガン):アンチエイジング、下半身の衰えに

華陽診療所医師 粕谷 志郎



八味地黄丸、六味丸は牛車腎気丸(ゴシャジンキガン)と並び、腎虚に使用する方剤です。腎虚とは、腎機能の低下も含みますが、漢方ではもう少し幅広い概念で、白髪、脱毛、背骨が曲がる、関節が変形して痛む、皮膚にシミや皺ができる、筋力が衰える、老眼や白内障、動脈硬化、耳が遠い、尿が近い、精神面でも無気力、物忘れ、記憶力の低下、抑うつなどを引き起こす状態を指します。これらは老化そのものと言えます。これらを補うことのできる薬で、今風に言い直せば、アンチエイジングの薬ということになります。

八味地黄丸は金匱要略(約1800年前)に記載された方剤で、脚気が小腹(下腹)に上がり具合の悪い状態を治すとあります。この時代に脚気がビタミンB1不足によって起こることは分かっていませんので、脚気は歩けなくなるような下半身の病気を広く指したものと考えられます。加え

て、腰痛、腎虚にも関連しますが尿が出にくい状態を治療します。アンチエイジング薬であり、下半身の強化が焦点となっています。

八味地黄丸には附子(ブシ)が入っており、胃腸が悪くなる場合がありますし、小児には使えません。附子と桂皮(ケイヒ)を除いた方剤が六味丸で小児直訣(約900年前)に記載があります。アンチエイジングの効果は成分である地黄(ジウウ)、山茱萸(サンシュユ)、山薬(サンヤク)にあり、特に地黄の産地は奈良県や大阪府で地名そのものとなっている所があります。毎食前に1包、ある程度の年(40歳過ぎ)からずと飲み続けていただきたい漢方薬です。



知って得する「介護保険制度」コーナー

老後のペットの世話

介護保険相談センターすこやか ケアマネジャー 岩原 田鶴子

みなさん、猫や犬、金魚や小鳥をペットとして飼っていますか?可愛いですね。

そのペットは何年生きるのでしょうか?猫や犬は長生きになってきましたので、20年生きたと聞くこともしばしばあります。私家で飼っていた黒のラブラドルも16年生きました。晩年の1年半は寝たきりで、身体を動かしてやらないと、床ずれができてしまいました。排泄もペットシートの上でさせるのですが、いざって動くので床の上や絨毯を汚染してしまい後始末に追われる日々でした。

ですから、犬であっても介護は大変だなと実感し、もし自分が高齢であったらと思うのです。65才で犬を飼い始めると、犬が死ぬのが15年後としても80才になっています。

もし、体調をくずし入院でもすることになったら、誰がペットの面倒を見るのでしょうか?

今まで私たちは、猫ちゃんを里親に出す、親族に引き取ってもらう、ペットを預かるNPOに迎えに来てもらうなど、利用者さんが安心して入院できるように、業務外ではありますが援助してきました。中には

入院中に実はペットを家の中に置いてきたと言われる方もあり、家に入ってみると犬が数匹おり、排泄物で足の踏み場のない状態となっていることもありました。ご本人も認知症が進み、飼い続けることは難しい状況でした。一人暮らしでは淋しいからと、孫が犬をおばあちゃんの家に入れてきて、その犬がじゃれて転倒し、骨折を繰り返す方もありました。

あるペットを里親に出す団体は、65才以上の方には出さない、それでも飼う場合は、家族が引き取ると約束してもらうそうです。でも、家族も引っ越しなどで飼うことができなくなり結局、その団体にペットが戻ってくるとこともあるそうです。

介護保険は人間のための保険です。ペットの世話はできません。みんながみんな犬や猫が好きわけではないので、老後にペットを飼うのは慎重にしましょう。



みどり病院 ☎058-241-0681 (医療福祉相談員まで)

ちょっと怖い食と農のほなし

身近な香料について

お彼岸が近づいてきました。多くのご家庭ではロウソクや線香の出番です。今回は食と農とは少し違いますが、身近な香料についてちょっとお知らせです。



ロウソクの原料は和ロウソクが主にハゼノキや漆から取れる木蠟です。洋ロウソクは以前は蜜蝋でしたが現在は石油系の、パラフィンとステアリン酸です。(滑材や食品添加物として使われています) 国産ロウソクは良く

精製されているので誤食しても中毒はありません。

線香は、主に沈香や白檀という香木から作られることが多いです。使用した時に含まれる成分には、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、タール、ベンゼンなどなどの燃やすことによって発生するタバコと同じ成分が含まれています。中国の研究では同じ濃度のタバコの煙より有毒ともいわれているほどです。アレルギーや呼吸器疾患がある方は要注意です。使用する場合は必ず換気を行い使用量を控えることをお勧めします。防火もお忘れなく。余談ですが柔軟剤や化粧品、除菌・消臭剤に使われている香料によって化学物質過敏症が急増しています。国に調査を求める要望が高まっています。